

2021年度「全国住宅・マンション供給調査」

— ご協力をお願い —

拝啓 貴社にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日ごろは各種調査・取材活動にご協力いただき、まことにありがとうございます。

さて、市場経済研究所では2021年度の「全国住宅・マンション供給調査」を別紙の通り実施したいと存じます。この調査はもともと日経産業消費研究所が企画、実務は市場経済研究所が担当していましたが、日本経済新聞社の機構改革に伴い、現在は市場経済研究所が調査を継続、実施しているものです。

調査結果は日経BP社のサイト「XTECH (クロステック)」への掲載など各種メディアにも公表する予定です。また、詳細は「全国住宅・マンション供給調査2022年版」として発行致します。

ご不明の点がございましたら、下記へお問い合わせ下さい。

ご多忙とは存じますが、本調査に是非ともご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

2021年4月

株式会社 市場経済研究所
代表取締役 鍋島 高明

[ご返送期限]

勝手ながら**5月14日(金)**までにご回答下さいますようお願い致します。

[調査に関するお問い合わせ先]

(株) 市場経済研究所 住宅・マンション調査係

〒110-0005 東京都台東区上野5-7-7 公德堂ビル2F

TEL 03-5817-4110 FAX 03-3834-4114

調査担当 【田村】直通 080-5178-1675

調査担当 【鍋島】直通 090-9840-1359

E-mail info@shijoken.co.jp

[このアンケート調査にご回答いただいた企業への特典]

「全国住宅・マンション供給調査2022年版」(7月中旬発行予定)を

市価の40%引きにてご提供致します。

全国住宅供給調査（戸建て及びアパート）

| | | | | |
|------------------|---|------|------|----|
| 貴社名 (お願い) | 【貴社名に「株式会社」や「有限会社」等も、御明示下さいますようお願い致します】 | | | |
| 所在地 | 〒 | 都道府県 | 市区町村 | 番地 |
| | TEL | FAX | | |
| 部署名 | 部署 | | ご担当者 | |
| | ご担当者 E-mail | | | |

Q1. 御社の新設住宅事業の過去2年の実績と、2021年度の計画をお聞かせ下さい。

Q1-a: 事業年度ごとに御社の新規住宅建築（新規に建築・販売した住宅＝戸建て及びアパート）の戸数及びその売上高を工法別にご記入下さい。リフォームや修理補修工事による売上は除きます。

| | | 2019年度実績 | | 2020年度実績 (あるいは実績見込み) | | 2021年度計画 | |
|-----------------------------|-------------|----------|----------------|-------------------------|----------------|----------|----------------|
| | | 供給 戸数 | 売上高 (100万円) | 供給 戸数 | 売上高 (100万円) | 供給 戸数 | 売上高 (100万円) |
| 木 造 住 宅 | 軸組み系（在来工法） | | | | | | |
| | 枠組み系（2×4工法） | | | | | | |
| | ログハウス | | | | | | |
| | その他 | | | | | | |
| | 合 計 | | | | | | |
| プ レ ハ ブ | 木質系 | | | | | | |
| | 鉄鋼系 | | | | | | |
| | コンクリート系 | | | | | | |
| | 合 計 | | | | | | |
| その他の住宅（プレハブを除く 鉄骨アパートなど） | | | | | | | |
| 全住宅合計 | | | | | | | |

(※アパートも棟数でなく、戸数でご記入下さい)

Q1-b: 上記販売実績の基準は下記のどれですか。該当する番号に○を付けて下さい。

| | | |
|------------|----------|----------|
| 1. 完工ベース | 2. 販売ベース | 3. 着工ベース |
| 4. その他 () | | |

Q1-c: 御社の各事業年度の決算月をご記入下さい。

| 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|--------|--------|--------|
| 年 月 | 年 月 | 年 月 |

**Q2. 2021年度（2021年4月～22年3月まで。以下同じ）に貴社の手がける住宅の、
広さ（A）と単価（B）、購入者の動向予想（C）をお聞かせ下さい。（各項目1つに○印）**

- | | | | |
|--------------|------------|----------|----------|
| (A) 住宅の広さ | 1. 狭くする | 2. 変わらない | 3. 広くする |
| (B) 1㎡当たりの単価 | 1. 安くする | 2. 変わらない | 3. 高くする |
| (C) 購入者の購買態度 | 1. 強まる・増える | 2. 変わらない | 3. 慎重になる |

Q3. 2021年度の住宅地の価格動向をどう予測されますか。（1つに○印）

- (A) 3大都市圏では上昇基調 (B) 全国的に上昇基調 (C) 全国的に下落基調

Q4. 住宅着工の活性化に効果があるのは次のどれだと思いますか。（3つまで○印）

- (A) 住宅ローン控除の強化 (B) 住宅金融支援機構金利の引き下げ (C) 雇用不安の解消
(D) 住宅価格の引き下げ (E) 魅力ある商品の開発 (F) 贈与税の軽減 (G) 株価の上昇
(H) 住宅エコポイント (I) コロナの完全収束 (J) その他 ()

Q5. 2021年度の新設住宅着工戸数を予想して下さい。（1つに○印）

- (A) 80万戸未満 (B) 80万～85万戸未満 (C) 85万～90万戸未満
(D) 90万～95万戸未満 (E) 95万～100万戸未満 (F) 100万戸以上

※参考 20年（1～12月）の新設住宅着工戸数は約81万5,000戸でした。

Q6. 全体の動向として今後、重視される住宅は何だと思いますか。（2つに○印）

- (A) 省エネ住宅 (B) バリアフリー住宅 (C) エコ住宅（環境調和型）
(D) 2世代住宅 (E) 低価格住宅 (F) 高価格住宅 (G) 耐震性能住宅

Q7. 大震災後、顧客の家づくりに対する意識に変化はありますか。（2つまで○印）

- (A) 耐震性への関心高まる (B) オール電化への反省
(C) 地盤への関心強まる (D) その他 ()

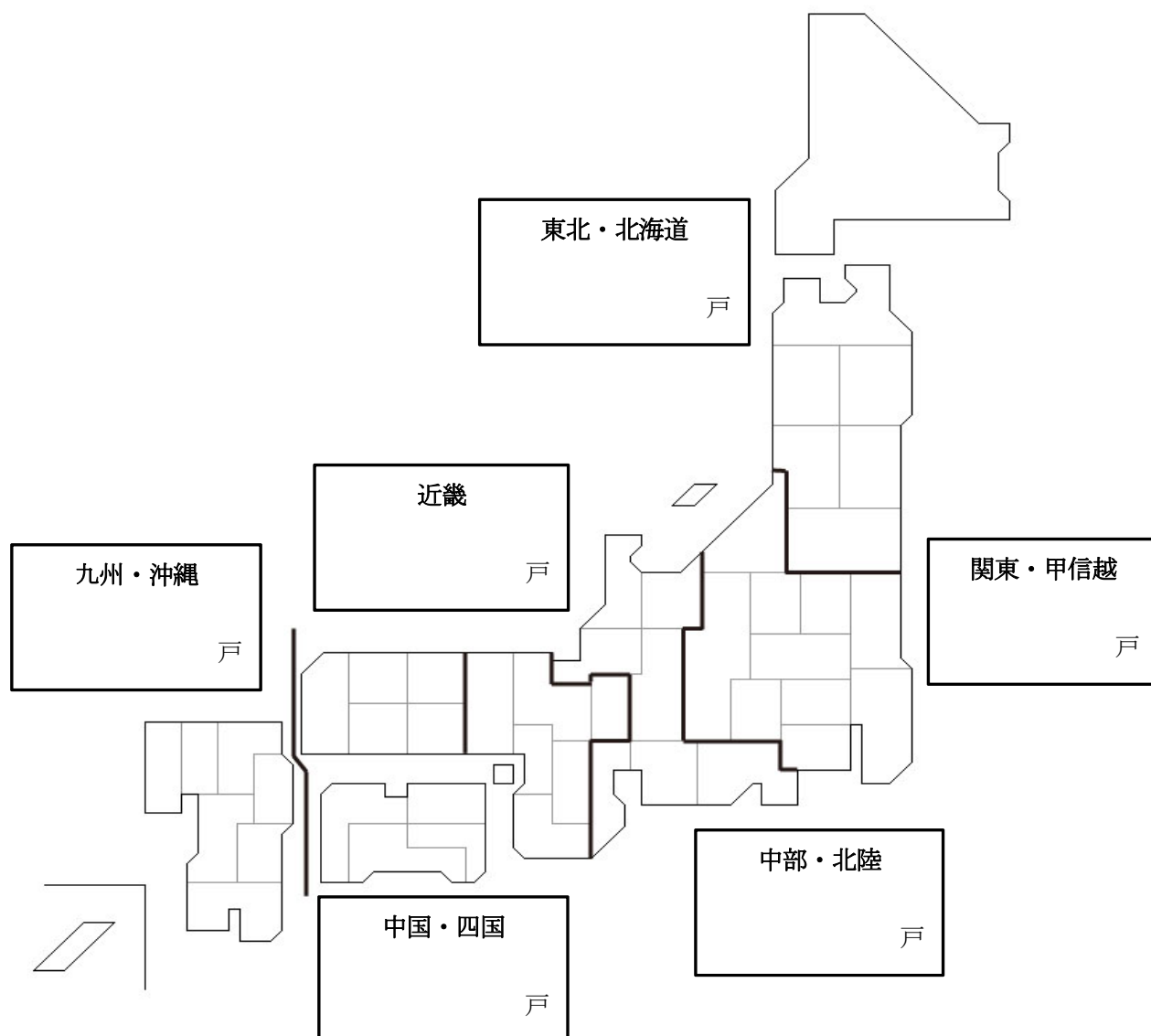
Q8. 貴社の2021年度の住宅戦略のポイントについてご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

戸建て及びアパート供給調査の追加項目

供給戸数実績上位の企業の方にお聞きします。

2020年度供給戸数実績（あるいは実績見込み）の下記ブロック別内訳をご記入下さい。



※ブロック別の目安（あくまで目安なので概略で結構です）東北・北海道＝北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県。関東・甲信越＝山梨県、長野県、新潟県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県。中部・北陸＝富山県、石川県、福井県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県。近畿＝大阪府・京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県。中国・四国＝鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県。九州・沖縄＝福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県。

白地図出典：「CraftMAP」<http://www.craftmap.box-i.net>

【住3】

全国マンション供給調査

| | |
|------------------|---|
| 貴社名 (お願い) | 【貴社名の「株式会社」や「有限会社」等も、御明示下さいますようお願い致します】 |
| 所在地 | 〒 都道府県 市区町村 番地 TEL FAX |
| 部署名 | 部署 ご担当者 ご担当者 E-mail |

Q1. 御社の新設マンション販売について過去2年の実績と、2021年度の計画をお聞かせ下さい。

Q1-a: 御社の新設マンション販売について、事業年度ごとに販売戸数と売上高（単位：百万円）を下記にご記入下さい（御社が事業主あるいは売り手の物件に限ります。施工・媒介・仲介等は除きます。ジョイント・ベンチャー事業の場合は御社の持ち分をご記入下さい）。

| | 2019年度実績 | 2020年度実績 (あるいは実績見込み) | 2021年度計画 |
|----------|----------|-------------------------|----------|
| 販売戸数 | | | |
| 売上高（百万円） | | | |

Q1-b: 上記販売戸数の計上基準に○を付けて下さい。

| |
|------------|
| 1. 引き渡しベース |
| 2. 発売ベース |
| 3. その他 () |

Q1-c: 上記売上高の計上基準に○を付けて下さい。

| |
|------------|
| 1. 引き渡しベース |
| 2. 発売ベース |
| 3. その他 () |

Q1-d: 御社の各事業年度の決算月を記入して下さい。

| 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|--------|--------|--------|
| 年 月 | 年 月 | 年 月 |

**Q2. 2021年度（2021年4月～22年3月まで。以下同じ）に貴社の手がける住宅の、
広さ（A）と単価（B）、購入者の動向予想（C）をお聞かせ下さい。（各項目1つに○印）**

- | | | | |
|--------------|------------|----------|----------|
| (A) 住宅の広さ | 1. 狭くする | 2. 変わらない | 3. 広くする |
| (B) 1㎡当たりの単価 | 1. 安くする | 2. 変わらない | 3. 高くする |
| (C) 購入者の購買態度 | 1. 強まる・増える | 2. 変わらない | 3. 慎重になる |

Q3. 2021年度の住宅地の価格動向をどう予測されますか。（1つに○印）

- (A) 3大都市圏では上昇基調 (B) 全国的に上昇基調 (C) 全国的に下落基調

Q4. 住宅着工の活性化に効果があるのは次のどれだと思いますか。（3つまで○印）

- (A) 住宅ローン控除の強化 (B) 住宅金融支援機構金利の引き下げ (C) 雇用不安の解消
(D) 住宅価格の引き下げ (E) 魅力ある商品の開発 (F) 贈与税の軽減 (G) 株価の上昇
(H) 住宅エコポイント (I) コロナの完全収束 (J) その他（ ）

Q5. 2021年度の新設住宅着工戸数を予想して下さい。（1つに○印）

- (A) 80万戸未満 (B) 80万～85万戸未満 (C) 85万～90万戸未満
(D) 90万～95万戸未満 (E) 95万～100万戸未満 (F) 100万戸以上

※参考 20年（1～12月）の新設住宅着工戸数は約81万5,000戸でした。

Q6. 2021年度の新設マンション着工戸数を予想して下さい。（1つに○印）

- (A) 10万戸未満 (B) 10万～12万戸未満
(C) 12万～14万戸未満 (D) 14万戸以上

※参考 20年（1～12月）のマンション着工戸数は約10万7,800戸でした。

Q7. 大震災後、顧客の家づくりに対する意識に変化はありますか。（2つまで○印）

- (A) 耐震性への関心高まる (B) オール電化への反省
(C) 地盤への関心強まる (D) その他（ ）

Q8. 貴社の2021年度のマンション戦略のポイントについてご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。